

34105 骨髄バンク、臓器移植等の推進

(主担当: 保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進をはかり県内で必要な血液を確保します。
- 2 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。
- 3 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。

1 献血推進

医療に必要な血液製剤をすべて自国の献血で確保する体制を早期に確立するため、献血思想の普及、献血組織の充実に努めた。特に輸血の安全性を向上させる 400ml 献血及び成分献血への理解と協力を図っている。

また、少子高齢化の進行により献血可能人口の減少が避けられないなか、将来の献血事業を担う若年層に対し、献血思想の普及啓発を推進した。管内高校及び高等専門学校を訪問し、献血の啓発とヤングミドナサポ - タ - 事業への協力を依頼した。

その結果、近畿大学工業高等専門学校からヤングミドナサポ - タ - として5名の登録があった。

* ヤングミドナサポーター: 高校生等を対象とした献血ボランティア

(1) 「愛の血液助け合い運動月間」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
平成 23 年 7 月 5 日	アピタ伊賀上野店	59 名	42 名
平成 23 年 7 月 13 日	イオン名張店	78 名	51 名

(2) 「ウインター献血キャンペーン」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
平成 24 年 1 月 9 日	アピタ伊賀上野店	76 名	55 名
平成 24 年 2 月 22 日	イオン名張店	84 名	61 名

(3) 市別献血状況

平成 23 年度実績

市町別	献血者数			
	400mL	200mL	成分献血	計
伊賀市	2,087	0	0	2,087
名張市	825	0	0	825
伊賀管内	2,912	0	0	2,912
三重県	35,704	101	22,459	58,264

2 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録(ドナー登録)の推進を図った。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎月第2木曜日に登録受付を実施し、1名の登録があった。

(2) 臨時ドナー登録受付の実施

管内5ヶ所の献血会場にて受付を実施した結果、14名の登録があった。

34106 難病患者等の支援

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族の QOL(生活の質)の向上をはかります。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施した。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給した。

(1) 被爆者健康手帳所持者 56人 平成24年3月31日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	20	36

(2) 被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 25人 (うち要精検者数 10人)

第2回 20人 (うち要精検者数 6人)

イ がん検診受診者数

平成24年3月31日現在

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	3	3	0	0	2	4
要精検者数	0	0	0	0	0	1

(3) 各種手当支給状況

平成24年3月31日現在

	医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者数	1	51	0	1	0	4	4

2 難病対策事業

(1) 特定疾患治療研究事業

特定疾患として指定された 56 疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により特定疾患医療受給者証を交付した。また、症状が改善され、経過観察等一定の通院管理のもとで、著しい制限を受けることなく就労を含む日常生活を営むことができる者には、特定疾患登録者証を交付した。

ア 特定疾患医療受給者数

平成 23 年度(平成 24 年 3 月末まで)

疾患名		男	女	合計
総計		434	617	1,051
1	ベーチェット病	13	8	21
2	多発性硬化症	4	18	22
3	重症筋無力症	7	15	22
4	全身性エリテマトーデス	12	59	71
5	スモン	0	1	1
6	再生不良性貧血	13	8	21
7	サルコイドーシス	8	13	21
8	筋萎縮性側索硬化症	7	11	18
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	20	72	92
10	特発性血小板減少性紫斑病	12	23	35
11	結節性動脈周囲炎	3	9	12
12	潰瘍性大腸炎	76	73	149
13	大動脈炎症候群	1	11	12
14	ピュルガー病	11	1	12
15	天疱瘡	4	5	9
16	脊髄小脳変性症	12	15	27
17	クローン病	21	11	32
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	0	4	4
20	パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	60	106	166
21	アミロイドーシス	1	3	4
22	後縦靱帯骨化症	25	16	41
23	ハンチントン舞蹈病	1	0	1
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	2	12	14
25	ウェゲナー肉芽腫症	0	2	2
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	40	11	51
27	多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	6	6	12
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0

29	膿疱性乾癬	1	2	3
30	広範脊柱管狭窄症	8	9	17
31	原発性胆汁性肝硬変	4	31	35
32	重症急性膵炎	4	0	4
33	特発性大腿骨頭壊死症	5	6	11
34	混合性結合組織病	0	11	11
35	原発性免疫不全症候群	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	7	2	9
37	網膜色素変性症	16	19	35
38	プリオン病	0	2	2
39	原発性肺高血圧症	0	4	4
40	神経線維腫症	2	0	2
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
42	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0	0	0
43	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2	5	7
44	ライソゾーム病	1	0	1
45	副腎皮質ジストロフィー	0	0	0
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	0	0	0
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4	1	5
50	肥大型心筋症	3	1	4
51	拘束型心筋症	0	0	0
52	ミトコンドリア病	0	0	0
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	0	1	1
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0
55	黄色靭帯骨化症	4	0	4
56	間脳下垂体機能障害	14	10	24

イ 特定疾患登録者数

平成23年度新規登録者数

疾患名		男	女	合計
総計		4	1	5
1	(11)結節性動脈周囲炎	1	0	1
2	(22)後縦靭帯骨化症	3	0	3
3	(33)特発性大腿骨頭壊死症	0	1	1

(2) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された11疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付した。

平成24年3月31日現在

	疾患名	受給者証交付件数
1	第 因子(フィブリノゲン)欠乏症	0
2	第 因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第 因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第 因子(安定因子)欠乏症	0
5	第 因子欠乏症(血友病A)	2
6	第 因子欠乏症(血友病B)	0
7	第 因子(スチュアートブラウア因子)欠乏症	0
8	第 因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	2
10	第 因子(PTA)欠乏症	0
11	第 因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0

3 難病在宅ケア事業

管内における患者の実態を明らかにし、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、在宅ケアを支えていくための医療・保健・福祉を包括したネットワークづくりを目指して各種事業を実施した。

(1) 難病地域ケア会議(実務者)開催

在宅難病患者を取り巻く関係者がネットワークを構築することにより、包括的な支援が提供できるようケア会議を実施した。

開催年月日 病名(場所)	関係機関名	検討内容
H23.6.16 ALS (名張市立病院)	家族、病院担当医、看護師 介護支援専門員、訪問看護ステーション 訪問介護事業所、呼吸器メーカー 当所保健師	・現在の病状と見通しについて ・介護者への支援について ・具体的な在宅サービス導入について ・往診医師との連携について
H23.7.5 ALS (自宅)	妻、専門医、看護師 介護支援専門員 訪問介護員 当所保健師	・病状の進行について ・必要栄養所要量と胃ろうからの栄養剤注入方法について ・補助呼吸について
H23.10.26 ALS (自宅)	夫、娘、介護支援専門員 福祉用具事業所 当所保健師	・退院時の医師の指示事項の確認 ・必要な在宅サービス導入について ・コミュニケーション支援について
H23.12.12 ALS (三重大学医学部 附属病院)	本人、家族、担当医、看護師 難病医療専門員、介護支援専門員 訪問看護ステーション、呼吸器メーカー 福祉用具事業者 訪問介護員 当所保健師	・退院後のケアについて ・現在の病状と在宅での留意点について ・具体的な在宅サービス導入について ・退院後の受診と往診医師との連携について ・コミュニケーション支援について ・退院時の体制について
H24.1.23 ALS (自宅)	本人、家族 介護支援専門員 訪問看護ステーション 難病医療専門員 当所保健師	・日常の過ごし方について ・介護者への支援について ・緊急時の対応について
H24.2.14 ALS (自宅)	本人、家族 専門医 看護師 当所保健師	・胃ろうの不具合について ・現在のサービス利用状況とサービスの追加について ・コミュニケーション支援について

*ALS: 筋萎縮性側索硬化症

(2) 個別ケアの充実

ア 電話相談・面接相談

在宅療養患者及び家族の相談、関係機関との連絡調整及び特定疾患申請手続き等に関する相談に対応した。

相談結果

方法	相談内容	延べ件数
電話相談	新規・更新・変更申請に関すること	342 件
	療養相談・制度等	62 件
	関係機関との連絡調整	46 件
	合 計	450 件
面接相談	新規・更新・変更申請に関すること	401 件
	療養相談・制度等	258 件
	関係機関との連絡調整	15 件
	合 計	674 件

神経難病患者については、疾患の理解・治療・予後等に対して特に不安が強いと考えられるため、新規申請時の面接に際し、医療や療養生活等の相談に十分理解できるよう努めた。

なお、平成 23 年度の主な神経難病の新規申請者数は次のとおり。

疾患番号	疾患名	新規受給者数
(2)	多発性硬化症	1 人
(3)	重症筋無力症	1 人
(8)	筋萎縮性側索硬化症	5 人
(16)	脊髄小脳変性症	0 人
(20)	パーキンソン病関連疾患	21 人
(27)	多系統萎縮症	3 人
	合 計	31 人

イ 家庭訪問

患者や家族、医療機関その他関係機関から依頼のあったケースを中心に家庭訪問を実施した。訪問は、ケアマネージャーや訪問看護師、難病医療専門員と同行し、ケースごとの課題や支援の方向性について関係職種間で共有するよう努めた。

疾患別訪問実施状況

疾患名	延べ件数
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	37 件
ピュルガー病	1 件
下垂体機能低下症	1 件
合 計	39 件

(3) 訪問療養相談

在宅で寝たきり状態であるために、長期間にわたり専門医の診察や福祉サービス利用・栄養相談等療養上の相談を受けることが困難な患者及び家族に対し、療養生活が適切に行われるよう、医療・福祉等の専門職による訪問療養相談を実施した。

開催月日	平成23年7月5日	平成24年3月6日
対象者	ALSの患者と家族 1件	ALSの患者と家族 1件
スタッフ	三重大学医学部附属病院医師 介護支援専門員 訪問看護師 訪問介護員 当所保健師	三重大学医学部附属病院医師 訪問看護師 当所保健師

(4) 事例検討会・研修会等

管内の関係機関、支援者が難病に対する知識と理解を深めることにより個別ケアの充実を図るとともに、患者を取り巻く関係者のネットワーク化を図るため、事例検討会及び研修会を実施した。

ア 事例検討会

開催日・病名・場所	関係機関名	検討内容
平成23年6月9日 ALS (居宅介護支援事業所)	在宅介護支援センター介護支援専門員 通所介護事業所 ヘルパー 難病医療専門員 当所保健師	・緊急時の対応について ・通所介護におけるサービス実施時の注意点について ・家族への支援について

イ 研修会

開催日・場所	内容	参加者
平成24年2月21日 県伊賀庁舎	(1) 講演「神経難病の理解とケア」 ～「その人らしく生きる」を支援するために～ 講師: 三重大学医学部看護学科教授 成田 有吾氏 (2) 難病医療連絡協議会の活動について 講師: 難病医療専門員 中井 美智子氏	113名(在宅支援関係者) 介護支援専門員 訪問看護師 訪問介護員 介護施設職員 行政 等

34107 医療分野の人材確保

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

医療分野の人材確保のため、医療系・福祉系の学生に対し、保健福祉事務所(保健所等)実習指導を実施します。

1 看護学生等保健所実習指導

平成24年3月31日現在

学 校 名	学 生 数	グ ル ー プ 数	実 習 日 数	備 考
三重県立看護大学	2	1	8	
三重大学医学部看護学科	6	1	10	
鈴鹿医療科学大学医療栄養学科	10	2	10	
合計	18	4	28	

*(実習日数に全員オリエンテーション含む)



343 高齢者保健福祉の推進

34301 介護保険制度の円滑な運営

(主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

- 1 介護認定審査会委員の現任者に対し、資質向上をめざした現任者向け研修を実施します。
- 2 介護サービス提供事業者に対し、新規・変更・更新指定申請時に必要な指導、助言を行い、介護サービスの質の確保に努めます。
- 3 介護サービス利用者の尊厳の保持、能力に応じた自立支援、並びにQOLの向上を支援します。

1 介護保険制度

介護保険制度の創設(H12.4.1)

高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして、共同連帯の理念に基づく社会保険方式により、民間活力を導入した介護保険制度が創設された。更に、サービス利用者の立場に立った制度として、従来の老人福祉法を中心とした地方公共団体の「措置」から、介護サービス提供者と利用者との自由意思による「契約」へと転換された。

介護保険制度等の見直し(H24.4.1施行)

介護保険制度の改正については幾多の変遷を経てきたが、制度施行後10年以上が経過し、制度として定着する一方、急速な高齢化の進展、医療ニーズの高い高齢者や重度の高齢者の増加、単身・高齢者のみの世帯等の増加、介護人材の確保等がなお喫緊の課題となっている。こうしたなか、平成24年4月1日施行(一部を除く。)の主な改正点は以下のとおり。

* 医療と介護の連携強化

地域包括ケアの推進、単身・重度者を支えるサービスの創設(「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「複合型サービス」)、介護療養病床の廃止期限の延期など

* 介護人材の確保とサービスの質の向上

介護福祉士等による痰の吸引等の実施、労働法規の遵守徹底、調査の義務付け廃止など
介護サービス情報の公表制度の見直しなど

* 認知症対策の推進

国・地方公共団体の責務(認知症の予防等介護方法の調査研究と成果の活用、支援人材の確保)、市民後見人の育成・活用など

* 保険料の上昇緩和

財政安定化基金の取り崩しなど

介護保険事業支援計画等

国の基本指針に即し、県においては介護保険事業支援計画で、圏域ごとの施設サービス定員(利用)総数等の必要事項を、また、市においては介護保険事業計画で、介護サービスの種類ごとのサービス量と方策等の必要事項をそれぞれ定めることとしている。

第5期の介護保険事業(支援)計画の期間は、平成24年度から平成26年度までの3か年である。

(1) 実施主体数 2 保険者

- ・ 伊賀市
- ・ 名張市

(2) 要介護認定者の状況

平成 24 年 3 月 31 日現在

保険者	要介護認定者数(人)							
	合計	要支援		要介護				
		1	2	1	2	3	4	5
伊賀市	6,166	748	838	1,203	1,105	826	789	657
名張市	3,169	264	507	517	666	436	449	330
合計	9,335	1,012	1,345	1,720	1,771	1,262	1,238	987

* 資料: 厚生労働省老健局介護保険計画課

(3) 介護度別居宅介護サービス受給者数

平成 24 年 3 月 31 日現在

保険者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
伊賀市	246	393	776	816	554	365	229	3,379
名張市	138	317	334	448	265	184	129	1,815
合計	384	710	1,110	1,264	819	549	358	5,194

* 資料: 厚生労働省老健局介護保険計画課

(4) 施設種別サービス受給者数

平成 24 年 3 月 31 日現在

保険者	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
伊賀市	550	382	22	954
名張市	427	173	35	635
合計	977	555	57	1,589

* 資料: 厚生労働省老健局介護保険計画課

(5) 指定居宅・施設介護支援事業者数

平成 24 年 4 月 1 日現在

	事業者数	備考(定員)
訪問介護	50	
訪問入浴介護	5	
訪問看護	11	
通所介護	57	
通所リハビリテーション	9	
短期入所生活介護	15	
福祉用具貸与	6	
特定福祉用具販売	6	

特定施設入所者生活介護	4	
指定介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	16	1,019 人
介護老人保健施設 (老人保健施設)	6	598 人
介護療養型医療施設 (療養型病床群)	1	40 人
介護予防訪問介護	50	
介護予防訪問入浴介護	5	
介護予防訪問看護	11	
介護予防通所介護	58	
介護予防通所リハビリテーション	7	
介護予防短期入所生活介護	14	
介護予防福祉用具貸与	6	
介護予防特定福祉用具販売	6	
介護予防特定施設入所者生活介護	2	

(6) 介護保険審査会

要介護認定に関する審査請求については、介護保険審査会の公益代表委員3名からなる合議体において審理され、裁決が行われます。

なお、平成23年度の審査請求はなし。

34302 介護基盤の整備促進とサービスの質の向上

(主担当: 保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

- 1 「みえ高齢者元気・かがやきプラン」(第4期三重県介護保険事業支援計画・第5次三重県高齢者福祉計画)に基づき、年度別に地域の実情を勘案して、老人保健福祉施設の整備を進めます。
- 2 利用者の視点に立った、質の高い高齢者福祉サービスを提供できる人材の確保と地域ケア体制の整備を進めます。

1 老人保健福祉施設の設置状況

平成24年4月1日現在(単位: 施設数・定員)

	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護 療養型 医療施設	養護老人 ホーム	老人福祉 センター	特定施設 入居者 生活介護	老人憩 の家	有料老 人ホーム
伊賀市	9(599人)	4(450人)	0	3	1	3	1	1
名張市	7(420人)	2(148人)	1(40人)	1	2	1	1	3
計	16(1,019人)	6(598人)	1(40人)	4	3	4	2	4